

金山駅舎

字金山（所有者：北海道旅客鉄道株式会社）

明治33年12月2日開駅

昭和9年建替 木造平屋 面積131.66㎡

当駅付近の森林は、良質で資源に富み、富士製紙株式会社第6工場があり、落合付近から空知川を流送した木材を原料として碎木パルプを製造、同社5工場（江別）へと供給した。国鉄合理化により、昭和57年11月15日、駅員無配置駅となり、昭和61年10月31日には完全に無人駅となった。

明治時代の金山駅舎



現在の金山駅舎



